

# ARL発信プロジェクト ～観光地としての道後商店街の課題～



6月 ARLプロジェクト予定表

④ area ③ region ② local ① town

日	月	火	水	木	金
	1	2	3	4	5
8	9				12
15	16			19	20
22	23		25	26	

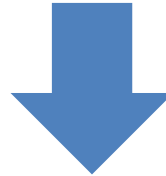
2009 CALENDAR



# ARLについて

## (1) 目的

- ・ 歴史ある温泉町の霧困気の減少
- ・ ドラマ「坂の上の雲」効果により観光客増加が予想されること



- ① 道後の課題
- ② 改善方法について考察

## (2) 手法・研究の流れ

### ① 道後における調査

- ・ 宮崎氏の講演に参加
- ・ 道後温泉観光協会への聞き取り調査
- ・ アンケート調査
- ・ 松山市役所観光産業振興課への聞き取り調査

### ② 由布院(大分)における調査

- ・ 由布院温泉観光協会への聞き取り調査
- ・ アンケート調査
- ・ リジェール松山での基調講演に参加

# 道後における調査



# (1) 調査理由と道後商店街概要



過度の装飾や  
派手な看板

温泉町としての  
雰囲気損なう

課題

## (2) 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会の活動

- ① 道後温泉地域の住民・事務所・NPO等の関係者は「歴史漂う道後温泉景観」の実現に努める。
- ② 将来像を「クラシック・モダン」とし、美しい町並みの形成
- ③ 個人の美しい行動と美しい事業活動
- ④ 「道後ブランド」を次代に継承発展させる景観づくり
- ⑤ 対話による社会的な合意と適正な制限の下での景観形成
- ⑥ 景観法に基づく景観計画の策定・景観協定によるまちづくり
- ⑦ 「おもてなしの心」をもって「道後温泉歴史漂う景観まちづくり宣言」を実現

# (3) 実際の取り組みと商店街店舗の動き

## ① 屋外広告物の自主撤去



撤去前



撤去後

# (3) 実際の取り組みと商店街店舗の動き

## ② 歩行者優先空間の創出



工事前



工事後



# (3) 実際の取り組みと商店街店舗の動き

## ③ 道後温泉周辺のファサード整備



整備前



整備後

## (4) 今後の取り組みの方針

- 道後温泉の発見から、温泉の吹き出しの様子を足湯として再現
- 聖徳太子来湯の歴史から「太子の湯」という露天風呂を復元する
- 「伊予の足桁」を想像で復元する
- 一遍上人が宝巖寺で生まれた歴史に基づき、「上人の湯」として宝巖寺門前に復元する
- 松平定行ゆかりの温泉施設を復元する
- 「牛馬湯」を「ペット湯」として現代風に整備する

※ 全体として温泉の復元が大筋となっている

## (5) 松山市役所観光産業振興課



松山市役所聞き取り調査の様子

- ・「坂の上の雲」のドラマ放送後の観光客の引き止めについて  
→アクセス環境を充実・安価にする
- ・道後温泉本館改修工事中の新たな魅力の提示
- ・地域住民と観光客が満足できる場を確立する必要がある

## (6) 見えてきた課題

- ① 看板(屋外広告物)等の問題
- ② 道後温泉本館改修工事の対策
- ③ 観光事業所と地域住民の相互の理解と関係づくり
- ④ 協会の活動資金の問題
- ⑤ ごみの問題
- ⑥ 駐車場・駐輪場の問題



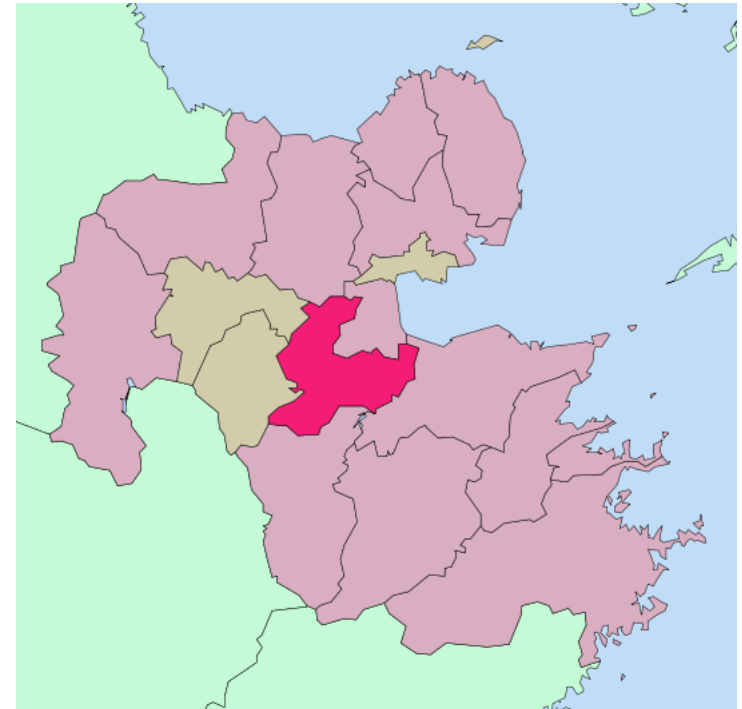
道後温泉観光協会での聞き取り調査の様子

# 由布院における調査



# (1) 由布院とは 調査対象地域の概要

- 大分県のほぼ中央に位置する温泉観光地
- 「日本を一番感じさせてくれる」を理由に多くの観光客が訪れている
- 地形は盆地、田園の風景が広がる(田舎)  
→2007年には470万人以上の観光客



50km

## (2) 調査対象地域について



A 由布見通り

B 湯の坪街道

### (3) 活動内容と日程

- 由布院温泉観光協会における聞き取り調査
- 商店街におけるアンケート調査
- リジェール松山での基調講演への参加(2010/1/30)



☆商店街発展のための取り組みを調査し、道後に取り入れるべき取り組みを考察する



## (4) 調査結果

### <観光協会における聞き取り調査>

#### ① 由布院における課題

- 近年の外部資本の参入によって由布院らしさのまとまりがなくなっている
- 「潤いある町づくり条例」の制定によって、大規模なレジャー施設などの参入は防ぐことはできた  
→看板の色や、数などに対してはこの条例は強制力がなく、各店舗が独自の由布院らしさを求めだす

※ モデル店舗の表彰

## ② 景観法を取り入れた取り組み

- 景観法・・・H18年に制定される  
県知事に申請し、使いたい町だけが利用出来る  
規制内容を自分たちで決めることが出来る
- 景観計画、景観協定、紳士協定からなる決まり  
を制定
- 景観計画は市が運用し、強制力を持つ



# ・ 景観法

## 景観法

自分たちで規制を考え  
強制力をもって守らせる

外部資本も加盟

景観計画

市が運用 強制力を持つ

景観協定

協定に加盟した店舗が守る

紳士協定

お互い気持ちよく商いするために  
自主的に守る＝法的担保無し

ねらい:もともとあった地域の暗黙のルールを守れるようにする  
調和のとれた由布院らしさの創造



- 景観計画

1. 壁面後退 ……十分な歩行者通路を確保
2. 建物の高さ
3. 屋根の形 ……具体的に数値で規制
4. 自然素材の利用
5. 建物の色彩……色の種類を減らさず、明るさ(彩度)を規制

- 景観協定

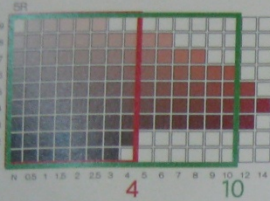
規定数値は商店街全店舗の看板を測定し、  
8割を占める数値にする

→無理なく守れる、調和をとれることを  
目指した数値に規定

# 湯の坪街道周辺地区景観色彩パレット

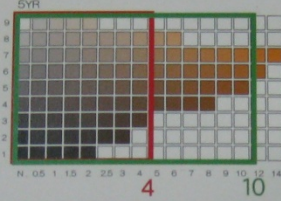
## 赤 (R) 系の色相

建物:彩度 4 以下 看板:彩度 10 以下



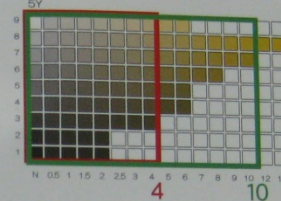
## 黄赤 (YR) の色相

建物:彩度 4 以下 看板:彩度 10 以下



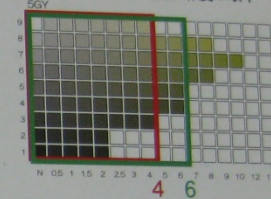
## 黄 (Y) の色相

建物:彩度 4 以下 看板:彩度 10 以下



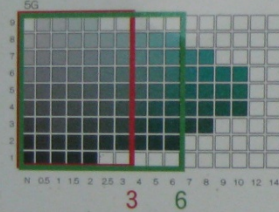
## 黄緑 (GY) 系の色相

建物:彩度 4 以下 看板:彩度 6 以下



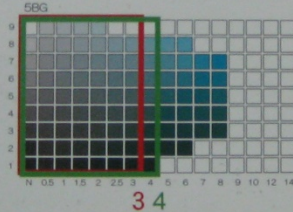
## 緑 (G) の色相

建物:彩度 3 以下 看板:彩度 6 以下



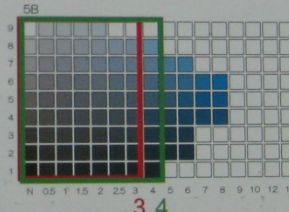
## 青緑 (BG) の色相

建物:彩度 3 以下 看板:彩度 4 以下



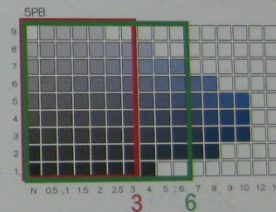
## 青 (B) 系の色相

建物:彩度 3 以下 看板:彩度 4 以下



## 青紫 (PB) 系の色相

建物:彩度 3 以下 看板:彩度 6 以下



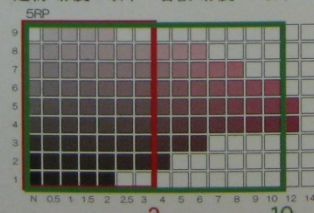
## 紫 (P) 系の色相

建物:彩度 3 以下 看板:彩度 6 以下

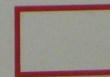


## 赤紫 (RP) 系の色相

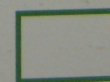
建物:彩度 3 以下 看板:彩度 10 以下



区域内の建物および看板・屋外広告物に使う色は、各色相ごとに枠内の使用範囲内の彩度に抑えてください。



建物の色彩の使用可能範囲



看板に主に使う色彩使用可能範囲

色彩記号はマンセル表色系によります。(タテ軸は明度、ヨコ軸は彩度を表します)

# 湯の坪街道周辺地区景観色彩パレット



この部分!

壁面後退の例





景観協定協力店の  
葉っぱマーク 1



景観協定協力店の  
葉っぱマーク 2

## (5) 松山市で行われた基調講演にて

- 地域住民にとって住みやすい町づくり  
「生活型観光地」
- 外部資本参入によるデザインの氾濫  
「由布院らしさ」の喪失 → 景観法を用いた取り組み
- 交通実験を行う
- 松山市のドラマ「坂の上の雲」について  
ドラマの宣伝をするより、  
いかにして松山市の観光客になってもらうか  
松山らしさをどう伝えるか



# アンケート調査



# (1) アンケート調査の目的

道後商店街

各戸

由布見通り・湯の坪街道

- ② 各戸に対する意識や取組の状況について
- ③ 光協会にどのような意見をもっているか
- ④ 各戸に光協会に

55枚配布中26枚回収

回収率47.3%

64枚配布中30枚回収

回収率46.8%

# (2) 店舗へのアンケート調査

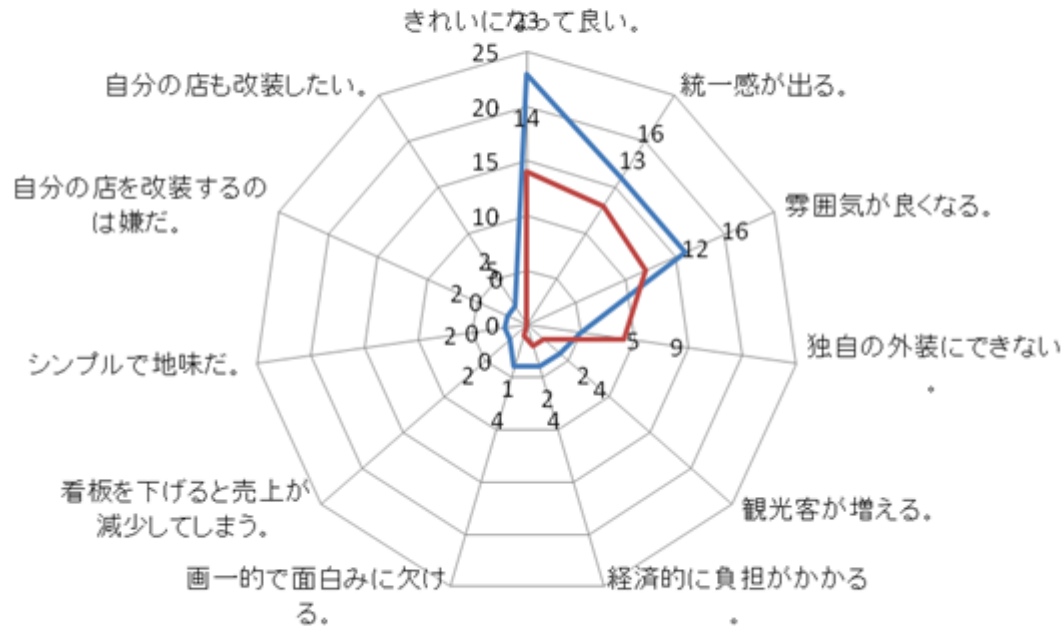
## ① 景観整備に関して

### 道後商店街

### 街道

### 景観整備に関する意識

— 道後商店街 — 由布見通り・湯の壺街道



項目
きれいになって良い。
統一感が出る。
道後の雰囲気が良くなる。
独自の外装にできない。
観光客が増える。
経済的に負担がかかる。
画一的で面白みに欠ける。
看板を下げると売上が減少してしまう。
シンプルで地味だ。
自分の店を改装するのは嫌だ。
自分の店も改装したい。
その他の意見： ・もっと緑を増やせ ・道後駅に身体障害 ・存在自体を否定す 現はなんとかして

N	%
14	46.7
13	43.3
12	40
9	30
2	6.7
2	6.7
1	3.3
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0

車場を用意することが最も重要。  
をもてない。

# 道後商店街

意識調査項目	必要性	行動調査項目	件数	%
店をきれいにする	4.44	店をきれいにする	14	53.8
景観を乱す看板を外す	4.25	看板を外す	0	0
観光客に挨拶する	4.42	挨拶する	11	42.3
接客態度を良くする	4.92	接客態度をより良くする	20	76.9
商店街店舗同士で交流する	3.79	他の店と協力している	3	11.5

その他店舗で取り組んでいること

- ・オリジナル商品の研究・開発
- ・宣伝

# 由布見通り・湯の坪街道

意識調査項目	必要性	行動調査項目	件数	%
店をきれいにする	4.42	店をきれいにする	16	53.9
景観を乱す看板を外す	4.18	看板を外す	1	3.3
観光客に挨拶する	4.25	挨拶する	10	33.3
接客態度を良くする	4.71	接客態度をより良くする	20	66.7
商店街店舗同士で交流する	3.64	他の店と協力している	3	10

その他店舗で取り組んでいること

- ・商品を充実させる
- ・自然体でいること
- ・他店商品もコマーシャルする。
- ・商品を店頭には置かない。
- ・由布院らしい店作り
- ・聞かれたことに対して + a で情報提供する。

# ②各店舗の意識と取り組み

## ③道後商店街 観光協会

- 今後町並み保守に関する条例の設定等に取り組んでほしい。
- 「3の外湯」も進めてほしい。
- よりリーダーシップのある人を代表者にして、的に街づくりに取り組んでほしい。
- 道後以外の外部の人材や意見を取り入れて、客観的 点を 入るべき。
- もう少し商店街を明るくしてほしい。
- 駐車を充実させてほしい。

## ④ 由布見通り・湯の坪街道 観光協会

- 新しく出店した店舗に対しては町づくり条例などの子の配布、での明など強 する必要がある。
- 20年前をもう一度振りり、由布院のよさを再識して町づくりすることを町民が一体となって行うことが必要。
- 無 配布のわかりやすい地 を業種 で るとい。由布院の自然を した発展をお いしたい。
- 駐車を増やして しい。

## (2) 観光客へのアンケート調査

### ① 観光客 観光協会、地域住民

- 案内看板をもっと充実させてほしい。
- 道後商店街内でイベントがほしい。
- 店や通りの景観に統一がほしい。
- 道後の歴史の周知をもっとしてほしい。
- 地域住民の車や自転車の交通マナーをくしてほしい。
- 工事をくわらせてほしい。
- あいさつをもっとしてほしい。
- 温泉街がく、またじ商ばかり置いてあり店のがない。

## ②観光地として相 しいようになる改善点

- 店が少ない。
- 風 店がある。
- 雰囲気損ねている看板。
- 歴史などの看板での表示方法。
- 店があること。
- 派手な店の外観
- 店に 一感を出して、 ち いた感じにして  
しい。



# まとめ



# まとめ

- 道後商店街、由布院商店街の課題や現 には たとこ  
があった
- 取り組みとしてはどちらも景観法に基づく景観計画によっ  
て、調和のとれた温泉町としての雰囲気を取り うとし  
ている
- しかし、道後は目 は観光客にあり、温泉施設などの設  
備など、 もの整備に っていると感じる
- 由布院においては地域住民目 で、地元の暗黙のルー  
ルを取り し、 一の再創造に けて活動して  
いる
- 商店街各店舗は景観整備にか して必要 は感じるも  
のの、実際に取り組めていない である

# 道後が取り入れるべき点

- 目を地域住民が住みやすい町づくりをすることにする→地域としてまとまりを持てるような点を持つ
- 地域のつながりが出来れば、調和のとれた商いが出来るようになり、景観の一も
- して景観とともに地域が調和を取れるようになれば、観光客に対して観光産業と地域が一体となつて えることが出来る

# 今後の課題

- 今後は地域がまとまりを持てるような取り組みについて、景観法以外の方法を考察する
- 由布院以外の観光地でさらに の取り組みを調査する
- 道後観光協会に対して具体的な方策を提言する

# ジェクトを振り って…

- 研究者としての問題意識を持てた
- 具体的な計画を事前に立てることの 要
- 一 一々の大 さを実感
- あらゆる面における成



おわり

